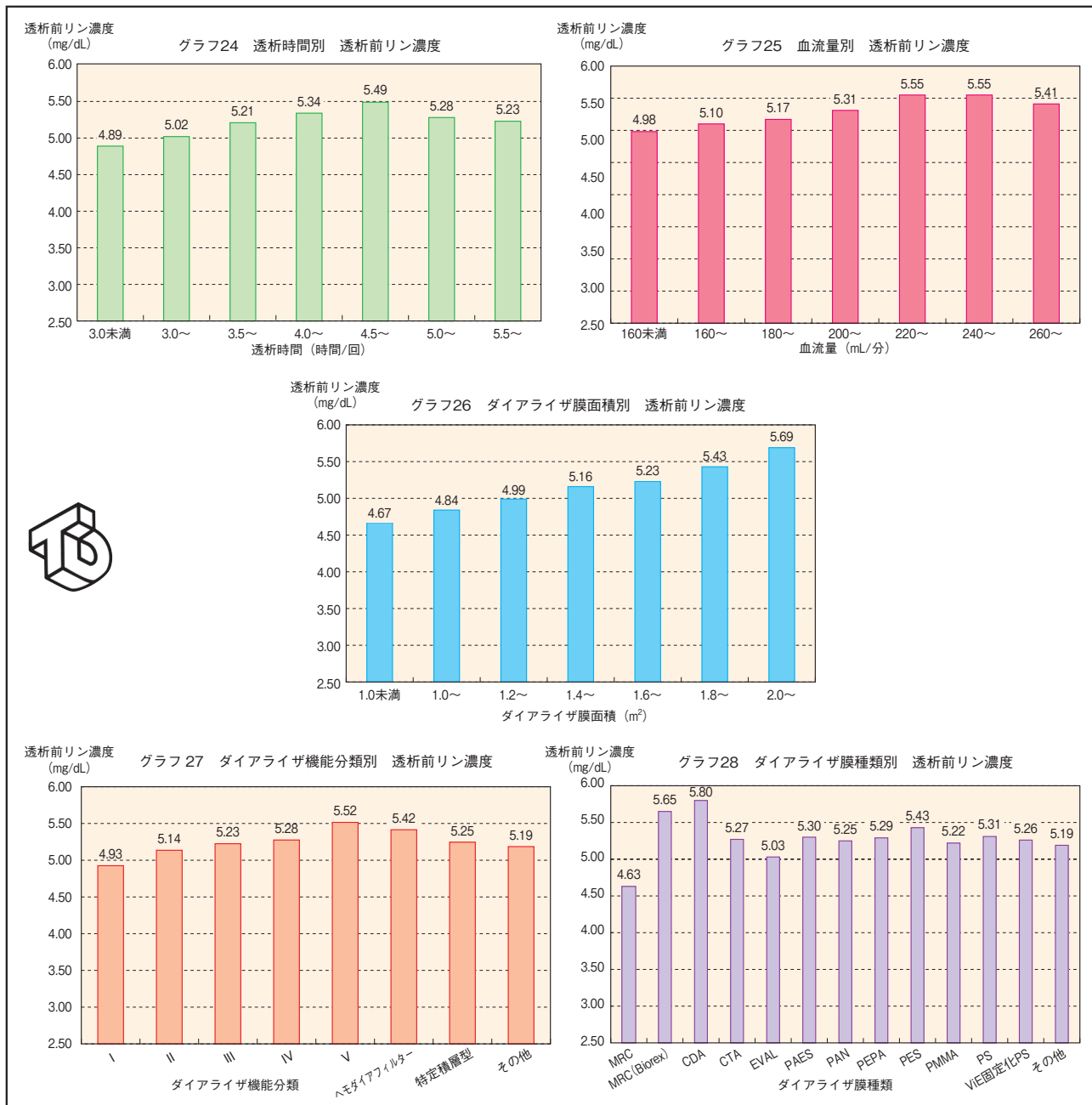


4) 血液透析条件と各種データ

(2) 透析条件と透析前リン濃度 (図表38)



患者調査による集計

グラフ24 集計対象：160,404人

グラフ25 集計対象：159,183人

グラフ26 集計対象：159,005人

グラフ27 集計対象：159,014人

グラフ28 集計対象：159,014人

解説

透析時間が長い方が、透析前リン濃度が高い傾向がみられた。

血流量が多い方が、透析前リン濃度が高い傾向がみられた。

ダイアライザ膜面積が大きい方が、透析前リン濃度が高い傾向がみられた。

ダイアライザ機能分類別では、低分子タンパク除去能が高い方が、透析前リン濃度が高い傾向がみられた。

透析前リン濃度は除去量以外に、食事摂取量、リン吸着剤使用量、二次性副甲状腺機能亢進症などの影響を受けるが、44頁の標準化蛋白異化率と併せてみると、食事摂取量を主に反映していることが示唆される。